

訪問リハビリテーション通信

☆現在の空き状況(PT)☆

	日	月	火	水	木	金	土
AM	休み	4	1	3	2	2	1
PM	休み	3	2	2	3	2	休み

STのスケジュールも空いており、PT・STとも時間の調整を出来る限り行いますので、宜しくお願いします。

☆ご利用にあたっての補足事項☆

訪問リハビリを利用するために、主治医の情報提供書や受診、当院の訪問診療(もしくは受診)が必要になります。当院が主治医になる場合は、毎月の受診または訪問診療が必要となり、他院が主治医となる場合も3か月に1度は当院の受診または訪問診療が必要となっています。訪問対応区域としては、西区・早良区・城南区(一部)・糸島市(一部)となっています。何卒ご検討の程、宜しくお願いします。

☆方針☆

訪問リハビリでは、身体機能や生活動作に対する訓練はもちろん、食事やコミュニケーションといった嚥下・言語機能に対するアプローチ、精神面のケア、福祉用具の選定、家族指導なども積極的に行っております。

一番大事なことは『明確な目標』を持ち、取り組んでいただけるようにしています。利用者様によって異なりますが、趣味活動や買い物、ドライブ、公共交通機関の練習など、その方に応じて適宜リハビリテーションを実施しています。

☆ST木藪より☆

今年は例年以上に猛暑となり、熱中症への注意が特に必要です。熱中症は、夏の強い日射しの下で激しい運動や作業をする時だけでなく、身体が暑さに慣れない梅雨明けの時期にも起こります。また屋外だけでなく、高温多湿の室内で過ごしている時にもみられます。症状が深刻なときは命に関わることもあります。

室内では無理はせず、扇風機やクーラーを活用し、適度な気温、湿度を保ちましょう。一度に大量の水を摂取すると、かえって体内の電解質のバランスが崩れ体調不良を引き起こすことも。のどが渇いていないから、汗をかいていないから大丈夫と思いがちですが、すでに体液が減少している場合も。いつもより尿の色が濃く、量が少ない場合はすでに体内の水分不足が起こっています。のどが渇く前からのこまめな水分、塩分補給が脱水症、熱中症予防には大切です。熱中症の発生は、当日の水分、塩分不足だけでなく、数日前からの不足が原因で発生します。常日頃から水分と塩分の補給を心がけましょう。

水分補給で1つ注意が必要なのは、スポーツドリンクの飲み過ぎによる、糖尿病です。スポーツドリンクには塩分やミネラルが配合されており吸収が良い為推奨されていますが、糖分もかなり含まれており、スポーツドリンクばかり飲み過ぎると血糖値が上がり過ぎて糖尿病のような状態になることがあります。なんでもバランス良く摂取して下さい。

〒819-0043

福岡市西区野方1-16-26

タケシマ整形外科医院 訪問リハビリテーション事業所

TEL 092-812-5021 FAX 092-812-6167

管理者(理学療法士) 有田 雄一